

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

関 人権・同和教育課

(TEL) 354-8253 (FAX) 354-8308

「それって本当かな？」を合言葉に

私たちはインターネット、SNSの普及やAIの進歩により、多くの情報を容易に得られるようになりました。その一方で、自分の興味のある情報や自分にとって都合の良い情報ばかりを得てしまい、物事を偏った視点で見してしまう危険性もあります。そして、情報に対する知識が十分でなかったり、一面的な視点でしか見ることができなかつたりすると、情報をそのまま信じ込んでしまい、インターネット上の誹謗中傷や差別的な情報の拡散につながり、今それが社会問題となっています。悪意がなくても知らず知らずのうちに、人を傷つける言動をしてしまっていることも



リーフレット
(小学生)



リーフレット
(中学生)

あります。

私たちには、インターネットや各種メディアから得られるさまざまな情報を正しく見分け、情報を主体的に読み解く力が必要です。こうした力を「メディア・リテラシー」と呼びます。本市では、市内のすべての公立小・中学校で、児童生徒にリーフレットを配布し、出前授業を通じて、こどもたちのメディア・リテラシー養成に取り組んでいます。

皆さんもメディア・リテラシーについて学び「それって本当かな？」を合言葉に、情報の真偽を確かめる習慣を身に付けましょう。

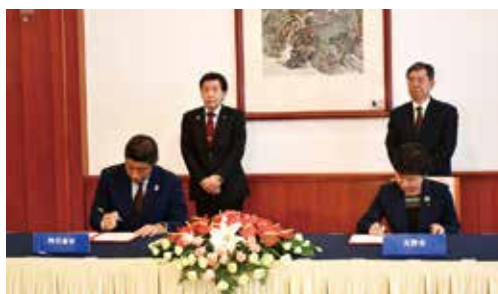


天津市との45周年記念事業

10月27～31日に、村山議長とともに、友好都市中国天津市を、本市の公式訪中団として訪問しました。私と議長にとっては初めての天津市訪問でしたが、車窓から見える高層ビル群や、海河沿いの夜景、街行く人々の活気ある姿などはとても印象的でした。

現地では、記念式典への出席をはじめ、より高い水準での都市間交流と協力を実現するための宣言書を交わしました。

また、中国とシンガポールが共同で進めている環境先進都市開発プロジェクト「中新天津エコシティ」の説明を受け、関係者と意見を交わしました。これは、環境共生と省資源、



資源循環をコンセプトとした中国最大級の取り組みの一つです。さらに、本市の都市開発の参考とするため、天津新港、濱海新区の図書館などを視察しました。

さらに、11月には、天津環境交流事業のため、天津市の行政関係者を本市に受け入れ、水環境汚染防止に関する意見交換や講義を行ったほか、市内事業所の取り組みを見学していただきました。

今後も、天津市とは相互訪問と多様な交流を通じ、よりよい友好都市関係を築いていきます。